

2013 北海道 旅ログ その4

5 日目

さあ、ここからが今回の旅のメインディッシュだ。

過去の旅では、割と北半分や全周など長距離弾丸ツーリングばかりやっていたのだが、今回は美瑛に腰をすえ、その美しい丘巡りをし、写真に納める旅にしようと思っていた。層雲峡から美瑛は近いのでぎりぎりの時間にチェックアウト。九州、本州ではバイクに荷物をくくりつけるだけで汗が噴き出したものだが、北海道ではまったく汗をかかなかった。



出発時の気温 15 度

さて、バイクは快調に 36 号を走る。

ところどころに見える川は、先日までの雨のためか、濁流となつてごうごうと流れていた。



山中の道をおりたあたりで、会社からの電話が入る。

「ああ、そうだった。おれ、会社員だった。折り返さないと」
と急に現実に引き戻され、近くの道の駅にバイクを停めて電話する。たいした用事でもなく、再び車上の人となり、美瑛を目指す。



この日も風が強かった。

昨日もそうで、トラックに追い越される時の乱気流でバイクがかなりバタついたし、対向してくる時は、通過後の気流に巻き込まれてすーっと、対向車線に持って行かれたりしていた。ある時、いかにも悪役顔のダンプがけたたましく対向してきたから、また巻き込まれると思って身構えていた。この時はちょっと様子が違い、おりからの強風に加え、すれ違い瞬間の、ダンプの衝撃波のような強い風きり風が私のスカブを襲った。スカブは激しくヨーイングし、気がつくやうに、スクリーンに挟んでいたタオルが宙を舞った。バタつくバイクを路肩に停めて、急ぎタオルを拾いにいく。こんなことは初めてだ。

そして、この日。

今度は同じような状況で、挟んでいた夏用グローブが宙を舞い始めた。しかもそこは橋の上。落としたら谷底行きで、さよならとなる。

「絶対落とさん！」という気合いが、宙を舞う 2 枚のグローブをたたき落とした。1 枚は左足、1 枚は右足の股にひっかかりそのまま挟み込んでスカブを停めた。まあ、こんなこともあるんだ。お気に入りのグローブなので無くさないで良かった。ちなみに、その時は夏用ではなく、内側にボアの入った冬用グローブを使っていた。それでも暑くないくらい、涼しい気候だった。

そんなこんなで美瑛の駅に着いた。

私の記憶では、道から 1 本入ったところにあるこじんまりとした駅なのだが、思いも付かないくらい駅前が整備されていた。こんな前広なんてあったか？



駅前広場



美瑛駅

思えば地元の北九州も 30 年前とは全く変わっている。北海道も変わって当然だ。むしろその進化の目撃者になれたことを幸せに思う。

駅前の観光協会で観光マップをもらい、まずは道路地図に載っていた撮影ポイントである「新栄の丘」に行ってみる。



ちょうど雲がさしかかってきて、残念。

次は「青い池」を目指す。

青い池の駐車場は無料で、とても広いが、傾斜のあるじゃり駐なのでバイクは要注意だ。



青い池の駐車場。ここから歩いて3分くらい

この日の青い池は、おりからの雨で濁っていて、青じゃなく緑色だった。来る人の多くが「青くない」とがっかりした様子だった。

青い池から「三愛の丘」に向かう途中、にわか雨にあった。
ポンチョを着てしばらく走ると、また晴れてきた。
道の向こうに虹が見えた。



三愛の丘はまた天気が良くなかったので、町役場横にあるタワーに向かった。
その展望室は高さが 32m あるそうで、そこからは向こうの山並みや、町並みが
良く見える。
眼下のこじんまりとした町並みが雪景色に染まると、どうだろう。おとぎの国
の風景みたいに見えるかも知れない。冬にも一度来てみたいものだ。



天気はめまぐるしく変わり、また雨が降り出したので、この日も早めに宿に入
った。
その4 終わり。その5 に続く